

## 7 山形大学基盤共通教育規程集

### 7.1 山形大学基盤共通教育履修規程

#### (趣旨)

第1条 この規程は、山形大学科目履修規程第3条の規定に基づき、山形大学（以下「**本学**」という。）において基盤共通教育科目として開設する授業科目、修得すべき単位数及び授業時間数、履修等について必要な事項を定めるものとする。

#### (定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 授業科目 山形大学学部規則（以下「**学部規則**」という。）第26条に規定する授業科目をいう。
- (2) 教育科目 学部規則第27条第3項に規定する科目の区分をいう。

#### (教育科目等)

第3条 基盤共通教育の教育科目等は、別表のとおりとする。

- 2 共通科目のコミュニケーション・スキル（以下「**スキル**」という。）2のうち日本語は外国人留学生に対して開設し、必要な事項は別に定める。
- 3 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校教育をいう。）を受けた者及び中国引揚者等子女については、前項の規定を準用することができる。

#### (修得すべき単位数)

第4条 基盤共通教育科目として開設する教育科目のうち、卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。

科 目	単 位 数	備 考
導入科目	各学部2単位以上	
基幹科目	各学部4単位	
教養科目	各学部の定めるところによる。	
共通科目	スキル1	各学部10単位を基本とする。これによりがたい場合は、学士課程基盤教育機構運営会議の承認を得るものとする。
	スキル1以外	各学部の定めるところによる。
探究科目	各学部の定めるところによる。	
補習科目	各学部の定めるところによる。	

#### (単位の計算基準)

第5条 授業科目の単位の計算基準は、学部規則第31条に基づき、原則として次のとおり定める。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、スキル1の英語1及びスキル2は、30時間の授業をもって1単位とし、スキル1の英語2及び英語3は、15時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

#### (授業)

第6条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う。

- 2 授業時間割、授業担当教員及び授業内容は、学年の始めに公示する。

#### (履修科目の登録)

第7条 学生は、履修しようとする授業科目を学期の始めに、定められた期日までに登録しなければ

ばならない。

- 2 履修科目を登録しない者は、単位の認定を受けることができない。
- 3 履修科目登録後の変更は、原則として認めない。
- 4 やむを得ない理由による履修取消しについては、一定の手続を経た上で認めるものとする。

#### (履修方法)

第8条 授業科目の履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

#### (成績の審査)

第9条 履修した授業科目の成績の審査は、各授業担当教員が学修状況、試験の成績等によって行う。

- 2 成績の審査は、各授業科目について100点満点とし、60点以上を合格とする。この場合において、100～90点をS、89～80点をA、79～70点をB、69～60点をCとし、59～0点をFとする。
- 3 成績の審査に合格した者に対しては、所定の単位を与える。
- 4 単位は、学期ごとに与える。
- 5 第6条第4項の規定による履修取消しをしないで履修を放棄した場合は、Fとする。
- 6 次の各号のいずれかに該当する者は、成績の審査を受けることができない。
  - (1) 休学中の者
  - (2) 学部規則第65条により懲戒中の者

#### (入学前の学修成果の認定)

第10条 学部規則第36条に規定する本学入学前の学修成果の認定は、各学部の定めるところによる。

- 2 前項の学修成果の認定に伴う履修期間の短縮は行わない。

#### (他大学等との単位互換)

第11条 学部規則第35条の規定に基づく、他大学等との単位互換による基盤共通教育科目に係る単位認定については、各学部の定めるところによる。

#### (外部試験の成果の認定)

第12条 学部規則第35条第3項及び第36条第2項の規定に基づく、外部試験(TOEIC、TOEFL及び実用英語技能検定(英検))の成果については、基盤共通教育科目のスキル1の単位として認定する。

#### (進級条件)

第13条 各学部における2年次への進級条件は、各学部の履修要項等の定めるところによる。

#### 附 則

- 1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成28年度以前入学者については、山形大学基盤教育履修規程の定めるところによる。

別表 基盤共通教育の授業科目等

区 分		分 野 名
科 目	領 域	
導入科目	スタートアップセミナー	スタートアップセミナー
		学部導入セミナー
基幹科目	人間を考える・共生を考える	人間を考える
		共生を考える
	山形から考える	山形から考える
教養科目	文化と社会	哲学
		心理学
		歴史学
		文学
		芸術
		言語学
		文化論
		法学
		経済学
		社会学
		政治学
		地理学
		社会と倫理※
		知的財産※
	日本国憲法	
	自然と科学	数理科学
		物理学
		化学
		生物科学
		地球科学
応用と学際	応用	
	学際	
共通科目	コミュニケーション・スキル1	英語1
		英語2※
		英語3※
	コミュニケーション・スキル2	ドイツ語
		フランス語
		ロシア語
		中国語
		韓国語
		日本語
	情報科学	情報処理
	健康・スポーツ	健康・スポーツ科学
		スポーツ実技
		スポーツセミナー

	サイエンス・スキル	数理科学
		物理学
		化学
		生物科学
		地球科学
		医学
		工学
		農学
	キャリアデザイン	キャリアデザイン
		キャリア教育※
探究科目	詳細は別に定める	
補習科目	詳細は別に定める	

※印は2年次以降に開講する科目

## 7.2 山形大学基盤共通教育科目の履修方法

### (趣 旨)

第1条 山形大学基盤共通教育履修規程第7条の規定に基づき、授業科目の履修方法等について必要な事項を定めるものとする。

### (授業名)

第2条 基盤共通教育の授業科目は、原則的に「授業名」として表記する。

2 授業名は、授業テーマと分野名からなり、次のように表記する。

「○○○○○○(×××)」

授業テーマ(分野名)

[例] 数の仕組み(数理学)

分野名には、必要に応じて識別記号(A, B等)を付す場合がある。

[例] 数の仕組み(数理学A)

なお、2単位科目のうち、授業内容に継続性のあるものは、識別記号に1, 2の番号を付す。

### (導入科目)

第3条 導入科目は、「スタートアップセミナー」及び「学部導入セミナー」を開講し、「スタートアップセミナー」は2単位を必修とする。

### (基幹科目)

第4条 基幹科目は、「人間を考える・共生を考える」及び「山形から考える」の2領域に区分し、それぞれの領域から各2単位を修得するものとする。ただし、各領域で2単位を超えて履修することはできない。

### (教養科目)

第5条 教養科目は、「文化と社会」、「自然と科学」及び「応用と学際」の3領域に区分する。

2 学部又は学科ごとの履修方法は、別表1のとおりとする。

3 次の各号のいずれかに該当する授業は、重複して履修できない。

(1) 同一の分野名であって、同一の識別記号を持つ授業

(2) 識別記号を持たない同一の分野名であって、同一の授業テーマを持つ授業

### (共通科目)

第6条 共通科目は、「コミュニケーション・スキル(以下「スキル」という。)1」, 「スキル2」, 「情報科学」, 「健康・スポーツ」, 「サイエンス・スキル」及び「キャリアデザイン」の6領域に区分する。

2 学部又は学科ごとの履修方法は、別表1及び別表2のとおりとする。ただし、「情報科学」の履修方法は、各学部の履修要項等に定めるところによる。

3 「スキル1」及び「スキル2」は、週2時間1学期1単位科目又は週4時間1学期2単位科目とする。

4 スキル1は英語1, 英語2, 英語3を、スキル2はドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語, 韓国語及び日本語(外国人留学生対象)を開講する。ただし、医学部医学科においては、スキル2としてドイツ語及びフランス語を開講する。

5 ドイツ語, フランス語, ロシア語及び中国語の発展コースの修得単位の取扱いは、各学部の定めるところによる。

6 「スキル1」及び「スキル2」の授業名, 開講方法等は次のとおりとする。

(1) 英語1

ア 授業名は、「コミュニケーション英語」又は「総合英語」とし、それぞれについて2単位まで履修できる。

イ 各学部ごとに週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて、指定された授業クラスで履修する。

ウ 単位の補充は、入学後2年目から認める。一つの学期に補充できる単位は、2単位までとする。

単位の補充は、原則として2年次以上を対象とするクラスに出席し、修得した単位は、履修登録時に選択した「コミュニケーション英語」又は「総合英語」の単位として認定する。

(2) 英語2および英語3については、各学部の履修要項等に定めるところによる。

(3) ドイツ語, フランス語, ロシア語, 中国語及び韓国語

ア 授業名は、分野名の後にI, II等を付したものとする。同一の授業名を持つ授業は、重複

- して履修できない。
- イ 各外国語は、授業内容によって区分されたⅠ（前期）、Ⅱ（後期）の授業を開講する。  
ドイツ語は、学習目標によって区分された複数の授業クラスから一つを選択し、履修する。
- ウ 単位の補充は、入学後2年目から認める。ただし、ドイツ語Ⅰについては、1年次後期に開講する。
- エ ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語について、それぞれⅠ及びⅡとして開講される4単位を超えて履修を希望する者を対象に発展コース（Ⅲ及びⅣ）の授業を開講する。  
履修に当たっては、Ⅰ及びⅡの4単位修得していることを必要とする。
- (4) 日本語
- ア 同一の分野名であって、同一の識別記号を持つ授業は、重複して履修できない。
- イ 日本語は8単位まで修得できるものとする。
- ウ 修得した単位は、教養科目、スキル1又はスキル2（日本語を除く）の単位に振り替えることができる。
- エ 外国人留学生以外の学生で、外国において相当の期間、中等教育（中学校又は高等学校に対応する学校における教育をいう。）を受けた者及び中国引揚者等子女については、本項の実施に際し履修する授業並びに修得単位の振替について、個別に指導の上、行うものとする。
- 7 本学入学前の外部試験（TOEIC®テスト，TOEFL®テスト及び実用英語技能検定（英検））の成果を、次によりスキル1の単位として認定する。
- (1) TOEIC®テスト=700点以上，TOEFL®テスト=500点以上又はTOEFLiBT®テスト=61点以上，実用英語技能検定（英検）=準1級以上を認定基準とする。
- (2) 前号のいずれか一つを満した場合に、申請により「コミュニケーション英語」又は「総合英語」の単位として認定する。ただし、認定単位数は最大2単位までとする。
- (3) 単位の認定は、1年前期の学期はじめに、各学部において行う。
- 8 「情報科学」，「健康・スポーツ」，「サイエンス・スキル」及び「キャリアデザイン」の開講方法等は次のとおりとする。
- (1) 情報科学
- ア 授業名は「情報処理」とする。
- イ 単位の補充は、入学後2年目から認める。
- (2) 健康・スポーツ，サイエンス・スキル及びキャリアデザイン  
次の各号のいずれかに該当する授業は、重複して履修できない。
- ・ 同一の分野名であって、同一の識別記号を持つ授業
  - ・ 識別記号を持たない同一の分野名であって、同一の授業テーマを持つ授業（「スポーツ実技」科目を除く）

## 附 則

- 1 この履修方法は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の履修方法は、平成29年度入学者から適用し、平成28年度以前の入学者については、なお従前の例による。

※TOEIC，TOEFL及びTOEFL iBTはエデュケーション・テスト・サービス（ETS）の登録商標です。

別表1 「教養科目」及び「共通科目（スキル1及びスキル2を除く）」の履修方法

学部・学科		履修方法
人文社会科学部		「教養科目」, 「共通科目」の「サイエンス・スキル」及び「キャリアデザイン」から14単位以上, 並びに「共通科目」の「情報科学」を2単位及び「健康・スポーツ」から1単位以上を修得すること。 なお, 「教養科目」については, 「文化と社会」から2単位以上, 「自然と科学」及び「共通科目」の「サイエンス・スキル」から2単位以上, 並びに「応用と学際」及び「共通科目」の「キャリアデザイン」から2単位以上修得すること。
地域教育文化学部		「教養科目」から児童教育コースは11単位以上, 文化創生コースは12単位以上, 並びに「共通科目」の「情報科学」を2単位及び「健康・スポーツ」から1単位以上を修得すること。 なお, 「教養科目」については, 「文化と社会」から2単位以上, 「自然と科学」から2単位以上, 並びに「応用と学際」から2単位以上を修得すること。 また, 「共通科目」の「サイエンス・スキル」は自由選択科目に充てられる。
理学部		「教養科目」の「文化と社会」及び「応用と学際」から6単位以上修得すること。ただし, 2年次以降に2単位以上を修得すること。 「共通科目」の「サイエンス・スキル」については, 24単位以上修得すること。 なお, 「サイエンススキル」については, 以下の1~3のとおり修得すること。 1. 「微分積分学Ⅰ」「微分積分学Ⅱ」「線形代数Ⅰ」「線形代数Ⅱ」「物理学Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物学Ⅰ」「地球科学Ⅰ」「データサイエンスⅠ」の18単位 2. 「物理学Ⅱ」「化学Ⅱ」「生物学Ⅱ」「地球科学Ⅱ」「データサイエンスⅡ」から4単位以上 3. 「共通物理学実験」「共通化学実験」「共通生物学実験」「共通地球科学実験」から2単位以上
医学部	医学科	「教養科目」並びに「共通科目」の「健康・スポーツ」及び「キャリアデザイン」から15単位以上, 並びに「共通科目」の「情報科学」2単位を修得すること。
	看護学科	「教養科目」並びに「共通科目」の「健康・スポーツ」及び「キャリアデザイン」から18単位以上, 並びに「共通科目」の「情報科学」2単位を修得すること。 ただし, 「教養科目」については, 「文化と社会」から4単位以上, 「自然と科学」から4単位以上を修得する。
工学部	高分子・有機材料工学科, 化学・バイオ工学科, 情報エレクトロニクス学科, 機械システム工学科	「教養科目」並びに「共通科目」の「サイエンス・スキル」, 「健康・スポーツ」, 「情報処理」, 「キャリアデザイン」から24単位以上を修得すること。 なお, 「教養科目」の「文化と社会」及び共通科目の「キャリアデザイン」から8単位以上(ただし, 「文化と社会」の「社会と倫理」必修科目2単位は含まない。), 並びに「教養科目」の「自然と科学」及び「共通科目」の「サイエンス・スキル」から6単位以上を修得すること。 また, 「サイエンス・スキル」の「微分積分学Ⅰ(数理科学)」「微分積分学Ⅱ(数理科学)」(各2単位)合計4単位, 「共通科目」の「情報科学」2単位及び「文化と社会」の「社会と倫理」2単位は必修とする。 高分子・有機材料工学科, 情報・エレクトロニクス学科は, 「共通科目」の「サイエンス・スキル」のうち, 「力学の基礎(物理学)」の履修を推奨する。 機械システム工学科は, 「共通科目」の「サイエンス・スキル」のうち, 「力学の基礎(物理学)」及び「導入科目」の「学部導入セミナー」の履修を推奨する。
	建築・デザイン学科	「教養科目」並びに「共通科目」の「サイエンス・スキル」及び「健康・スポーツ」及び「情報科学」及び「キャリアデザイン」から24単位以上を修得すること。 なお, 「教養科目」の「文化と社会」及び共通科目の「キャリアデザイン」から8単位以上(ただし, 「文化と社会」の「社会と倫理」必修科目2単位は含まない。), 並びに「教養科目」の「自然と科学」及び「共通科目」の「サイエンス・スキル」から6単位以上を修得すること。 また, 「共通科目」の「情報科学」2単位及び「文化と社会」の「社会と倫理」2単位は必修とする。
	システム創成工学科	「教養科目」並びに「共通科目」の「サイエンス・スキル」, 「健康・スポーツ」, 「キャリアデザイン」の「自己理解・社会理解(キャリアデザイン)」及び「情報科学」から10単位以上(ただし, 「文化と社会」の「社会と倫理」必修科目2単位は含まない。)を修得すること。 「キャリアデザイン」の「キャリアパスセミナー(キャリアデザイン)」2単位及び「情報科学」の「情報処理」2単位は必修とする。 なお, 「教養科目」の「自然と科学」領域の「線形代数基礎(数理科学)」「線形代数応用(数理科学)」, 「物理学基礎(物理学)」及び「共通科目」の「微分積分学Ⅰ(数理科学)」, 「微分積分学Ⅱ(数理科学)」の履修を推奨する。
農学部 ※脚注参照		「教養科目」並びに「共通科目」の「スキル2」, 「情報科学」, 「健康・スポーツ」, 「サイエンス・スキル」及び「キャリアデザイン」から19単位以上を修得すること。 なお, 「教養科目」については, 2領域以上から選択し, 履修すること。

※ 農学部については, スキル2の履修方法も含まれているので留意すること。

別表2 「スキル1（英語1）」及び「スキル2」の学部別開講科目並びに履修方法

学 部	開 講 科 目	履 修 方 法
人文 社会科学部	英 語 1	前期，後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し，「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。
	ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 韓国語	① ドイツ語を選択する場合は，授業クラスを選択して，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得する。 ② フランス語，ロシア語，中国語又は韓国語を選択する場合は，指定された授業クラスで，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得する。 ③ I（前期）及びII（後期）の授業は，それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので，週1回だけの履修は認めない。
地域教育 文化学部	英 語 1	前期，後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し，「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。
	ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 韓国語	① ドイツ語を選択する場合は，授業クラスを選択して，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得する。 ② フランス語，ロシア語，中国語又は韓国語を選択する場合は，指定された授業クラスで，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得する。 ③ I（前期）及びII（後期）の授業は，それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので，週1回だけの履修は認めない。 ④ ドイツ語，フランス語，ロシア語及び中国語では発展コースとしてIII及びIVの授業を開講し，それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。 ただし，発展コースの履修に当たっては，I及びIIの4単位を修得していることを要する。
理 学 部	英 語 1	前期，後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し，「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。
	ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 韓国語	① ドイツ語を選択する場合は，授業クラスを選択して，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。 ② フランス語，ロシア語，中国語又は韓国語を選択する場合は，指定された授業クラスで，I（前期）及びII（後期）の授業を順次履修し，それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。 ③ I（前期）及びII（後期）の授業は，それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので，週1回だけの履修は認めない。 ④ ドイツ語，フランス語，ロシア語及び中国語では発展コースとしてIII及びIVの授業を開講し，それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。 ただし，発展コースの履修に当たっては，I及びIIの4単位を修得していることを要する。
医 学 部	英 語 1	前期，後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し，「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。

<p>医学部</p> <p>ドイツ語 フランス語 ロシア語 (看護学科のみ) 中国語 (看護学科のみ) 韓国語 (看護学科のみ)</p>		<p><b>[医学科]</b></p> <p>① ドイツ語を選択する場合は、授業クラスを選択して、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得する。</p> <p>② フランス語を選択する場合は、指定された授業クラスで、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得する。</p> <p>③ Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業は、それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので、週1回だけの履修は認めない。</p> <p>④ ドイツ語及びフランス語では発展コースとしてⅢ及びⅣの授業を開講し、それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。 ただし、発展コースの履修に当たっては、Ⅰ及びⅡの4単位を修得していることを要する。</p> <p><b>[看護学科]</b></p> <p>① ドイツ語を選択する場合は、授業クラスを選択して、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p> <p>② フランス語、ロシア語、中国語又は韓国語を選択する場合は、指定された授業クラスで、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p> <p>③ Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業は、それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので、週1回だけの履修は認めない。</p> <p>④ ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語では発展コースとしてⅢ及びⅣの授業を開講し、それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。 ただし、発展コースの履修に当たっては、Ⅰ及びⅡの4単位を修得していることを要する。</p>
<p>工学部</p> <p>ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 韓国語 (システム創成工学科は、ドイツ語及び中国語のみ。)</p>	<p>英語 1</p>	<p>前期、後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し、「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。</p> <p>① ドイツ語を選択する場合は、授業クラスを選択（システム創成工学科は指定）して、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p> <p>② フランス語、ロシア語、中国語又は韓国語を選択する場合は、指定された授業クラスで、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p> <p>③ Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業は、それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので、週1回だけの履修は認めない。</p> <p>④ ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語では発展コースとしてⅢ及びⅣの授業を開講し、それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。 ただし、発展コースの履修に当たっては、Ⅰ及びⅡの4単位を修得していることを要する。</p>
<p>農学部 ※脚注参照</p> <p>ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 韓国語</p>	<p>英語 1</p>	<p>前期、後期とも週1回ずつ開講される「コミュニケーション英語」及び「総合英語」のそれぞれについて指定された授業クラスで履修し、「コミュニケーション英語」2単位及び「総合英語」2単位の合計4単位を修得しなければならない。</p> <p>① ドイツ語を選択する場合は、授業クラスを選択して、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p> <p>② フランス語、ロシア語、中国語又は韓国語を選択する場合は、指定された授業クラスで、Ⅰ（前期）及びⅡ（後期）の授業を順次履修し、それぞれ2単位合計4単位を修得することができる。</p>

- |  |  |
|--|--|
|  | <p>③ I（前期）及びII（後期）の授業は、それぞれ週2回の授業をもって2単位として開講するので、週1回だけの履修は認めない。</p> <p>④ ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語では発展コースとしてIII及びIVの授業を開講し、それぞれ週1回の授業をもって2単位とする。</p> <p>ただし、発展コースの履修に当たっては、I及びIIの4単位を修得していることを要する。</p> |
|--|--|

※ 農学部スキル2については、61頁の履修方法にも留意すること。